

脳神経外科初期研修

研修目標及び特徴

脳神経外科患者の受け持ちを経験し、病態の理解並びにチーム診療の一員として検査・治療・退院の方針を立てることができるようになることを目標とします。そのために、当科の特徴として、すべての脳血管造影検査、直達手術及び脳血管内手術に参加し基本的手技と脳・神経の手術解剖の基礎を習得していただきます。

主な対象疾患

脳腫瘍（髄膜腫、神経膠腫、転移性脳腫瘍、下垂体腺腫など）

脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）

神経外傷（急性硬膜下／外血腫、脳挫傷、慢性硬膜下血腫など）

機能的疾患（正常圧水頭症、顔面けいれん、三叉神経痛、てんかんなど）

研修内容

1. 脳神経疾患患者さんの入院、病歴聴取、所見、検査、診断、治療、退院の流れを組み立てる。
2. 症例に応じたインフォームド・コンセントを取る。
3. 基本的な神経学所見をとり、疾患の鑑別を行う。
4. 各種画像診断の読影。
5. 脳血管造影検査・治療に参加し、基本的技術を習得する。
6. 脳神経疾患の病態に応じた治療薬の選択・処方を学ぶ。
7. 手術に参加し外科手技を習得しつつ臨床解剖を理解する。
8. 手術以外の治療法（化学療法、放射線治療）について理解を深める。

指導スタッフ（卒業年度、専門医、認定医）

藤本康倫（平成4年卒） 日本脳神経外科学会専門医・指導医、脳卒中専門医・指導医、脳卒中の外科学会技術認定医、がん治療認定医、日本内分泌学会内分泌代謝専門医（脳神経外科）、神経内視鏡学会技術認定医、臨床研修指導医、大阪大学医学部脳神経外科臨床准教授、

影山悠（平成13年卒） 日本脳神経外科学会専門医、日本小児神経外科学会認定医、神経内視鏡学会技術認定医

井間博之（平成19年卒） 日本脳神経外科学会専門医・指導医、脳血管内治療専門医、脳卒中専門医

平井健太郎（平成31年卒） 専攻医

診療実績、設備

2020 年度手術件数 175 例：脳脊髄腫瘍の直達手術 32 例、脳血管疾患の直達手術 23 例、脳血管内手術 60 例、他。

医療設備：MRI、三次元 CT、SPECT、手術ナビゲーションシステム、神経内視鏡、ハイブリッド手術室

週間スケジュール

| 曜日 | AM | PM |
|----|------|---------------------------|
| 月 | 手術 | 手術 |
| 火 | 病棟勤務 | 脳血管造影検査、脳血管内手術、回診、カンファレンス |
| 水 | 手術 | 手術 |
| 木 | 病棟勤務 | 病棟勤務 |
| 金 | 病棟勤務 | 脳血管造影検査、脳血管内手術 |

専門医、認定医、教育病院など学会の指定状況

日本脳神経外科学会 専門研修プログラム 連携施設（施設番号 194）